

平成27年度第3回東北森林管理局国有林材供給調整検討委員会

- 1 開催日時・場所 平成27年11月19日(木) 東北森林管理局 大会議室
- 2 出席者【委員】黒瀧委員、高橋委員、林委員、守屋委員、佐々木委員、安部委員
- 3 検討結果

現時点では特に供給調整の必要はないが、国有林には、前回同様、価格及び需給動向を注視していただくとともに、低質材を含めた未利用材の供給に努めていただきたい。

4 主な意見

1) 国産材需給

- ① 今後、スギ中目材は価格の上昇が期待できるが、それ以外は現状価格で推移、合板用も同様。チップは製紙用と発電用の競合で価格は上昇するものと思われる。

カラマツの製材は引き合いが強くなり、入札価格も上昇傾向にある。合板については、スギ・アカマツの素材価格は依然弱含みが続いており、カラマツは製材品と同じく上昇傾向にある。

- ② 山形県内の住宅着工数も伸びており、プレカット工場は順調に稼働している。
- ③ 合板工場では、フロア台板、型枠用の増産により、カラマツ、トドマツの需要が高まっている。
- ④ 宮城県内大型小売店で家庭用ペレットストーブの販売が始まり、ペレットの供給体制整備を求める声が出ている。

2) 他地域への輸送・輸出

- ① 中国経済の冷え込みにより、中国、韓国、台湾向けの原木輸出の引き合いが弱まっている。競合する国内のバイオマス用、製紙用の需給、価格の動向を見定め対処する必要がある。

3) その他

- ① 補助金の不足により、苗が余っているところもあると聞いているので、再造林の促進策をお願いしたい。